

視察成果報告書

令和 4 年 8 月 5 日

犬山市議会

議長 三浦知里 様

議員名 柴山一生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和 4 年 8 月 1 日(月) ~ 令和 4 年 8 月 2 日(火) (1泊2日)
(2) 視察地	JIAM
(3) 視察の種類	常任・特別委員会 (委員会) : 会派 (清月会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	8/1 ① 石義崎初仁 中央大学法学部教授 「討議型議員、役立つ議会」を生み出すためには「受身の決定機関から政策に強い代議機関」になる必要がある。その為には、条例・予算、行政計画に取り組み、予算編成は執行側にあるが、予算修正、議会がやるべきであり、予算についてその編成する側の気遣いと熱意で協力が必要である。日頃より議会内に政策検討の習慣をつくる必要がある。その為には議会審議の中で議員間討議を確保する必要がある。 ② 藤野純一 公益財団法人地球環境戦略会議 上席研究員 「市町村における脱炭素のススメ」の為には、奥州・中村澤田の富田高慶の如く、二宮尊徳の報徳仕法を学ぶべきである。
(5) 犬山市に 対する提言	① 犬山市議会は、議員間討議を既に二期以て前から進めており、討議型議会に向けて既にスタートはしていると思いが、議長登壇や多くの議員に対して討議型を推進する為に、制度としてより強化していかねばならない。 ② 現在の地球温暖化は、人為的なものなのか、それとも地球の自然な気候変動なのか分からない。脱炭素が正しい方向性かどうか議論している。

尚2日目の2つの講座は、愛知県議事堂での屋敷水防財団の議長として、柳望書提出に出席せねばならず欠席した。

